

地中海クルーズ



(説明) 地中海を航行するボイジャーの12階デッキで撮影

2006年11月18日

1 日程及びコース

日数	月日	都市名	内容
1	11月3日	バルセロナ	成田 9:55→パリ 15:40→バルセロナ 17:25
2	11月4日	バルセロナ出航	
3	11月5日	マルセイユ	
4	11月6日	ビルフランシュ	ニース
5	11月7日	リボルノ	フィレンツェ、ピサ
6	11月8日	チベタベッキア	ローマ
7	11月9日	ナポリ	
8	11月10日	終日航海	
9	11月11日	バルセロナ発	バルセロナ 16:10→アムステルダム 20:15
10	11月12日	成田着	15:50着

- 2 クルーズ 船名 ボイジャー・オブ・ザ・シー
総トン数 142,000トン
乗客定員 3,114名、乗組員数 1,181名
スケール 全長 311m×全幅 48m×全高 63m
船社 ロイヤルカリビアン・インターナショナル(米国)



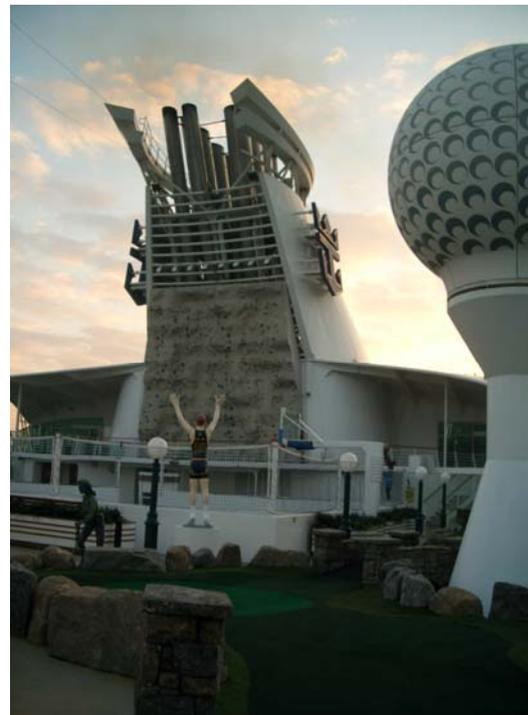
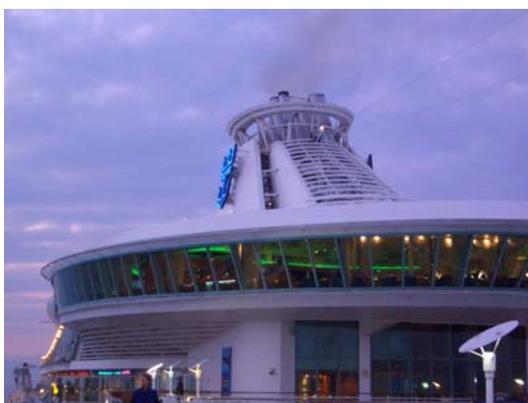
(説明) バルセロナ港停泊中のボイジャーをオリンピック公園から撮影

3 ボイジャー

自分が乗船している大型客船の全景を撮影するのは難しい。ビルフランシュでは本船は沖泊まり。上陸するためのテnderボートから撮影。下の写真は、ナポリ港のターミナル・デッキから撮影した。



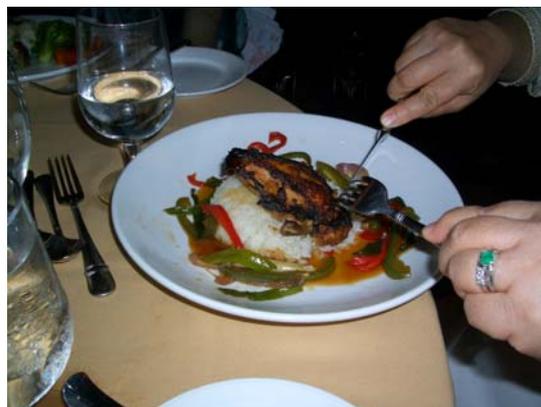
デッキ 11、12 は最上階でプール、ロッククライミング、たくさんのデッキチェアがある。展望ラウンジは 180 度の展望で夜はいつも混雑。



私たちのキャビンは9デッキの9383号。安い値段だが、15階の9階と最上階に近い。窓がないために安いが、船では部屋はただ寝るだけだからこれで充分。



毎夜ダイナーが続く。3 デッキ吹き抜けのメインダイニングの食事風景。ドレスコードの指定もある。約 3 千名の食事は、18:30 と 20:30 スタートに分けられる。



11 デッキのビュフェレストランは、朝 6 時から夜 12 時までオープン。約 50 カ国の料理人が働くと聞いた。毎夜のディナーに飽きた人にも好評で、終日混雑。船内の食事は、早朝、朝、遅い朝、昼、遅い昼、夕、夜食と 7 回食べられる。その間は、軽食タイムである。写真は、朝 6 時開店直後の早朝の光景。



船内にはロイヤルプロムナードがあり、航海中だけ開店する。中段はバルセロナやマルセイユの旧港風景。下段は殺風景な客船ターミナル。



ナポリ港は、大型客船が目白押しで停泊。ゴールデン・プリンセス。



前はミストラル、奥はゴールデン・プリンセス



青い地中海の海と空。向こうはサルデニア島。



ビルフランシュ港の昼と夜



ニース



4 エクスカーション

ヨーロッパのクルーズは、Shore Excursion(寄港地観光ツアー)が楽しい。前夜7時に港を出港すると、翌日の朝7時には次の港に入港しているという具合で、夜中航海して朝目覚めると別の港にいる。今回はスタート及び最終港のバルセロナを含めて6港へ行った。

(1) バルセロナ

人口170万人、スペイン第2の都市。港の入口にコロンブスの塔が西のアメリカの方角を指差して立っている。そこから繁華街・ランブラス通りが都心に延びてカタルーニア広場へ至り、銀座通りのようなグラシア通りへ抜けていく。街のあちこちにガウディの建物がある。

上段はサグラダ・ファミリア教会(聖家族教会)。1882年着工以来まだ6分の1しか完成しておらず、いつできるかもわからないと聞いた。下段・左はハグエル公園のテラス、右はカサ・ミラ(マンション)。



●中段は宿泊ホテルの近くにあったサン・ジョセップ市場とその中のお店。下段は、都心にあるガウディのカサ・パトリョ、隣接してロエベ本店とルイ・ビトンがある。



●ランブラス通りはコロンプスの塔からカタルーニア広場を繋ぐ遊歩道で、終日人々にぎわう。花屋と大道芸人が多い。レイアール広場にはガウディの街灯もあった。



(2) マルセイユ

日本からフランスへ行く場合の入国は、飛行機時代の今でこそパリ郊外のドゴール空港だが、少し前までの船旅時代では、南仏プロバンスのマルセイユだった。明治 43 年夏目漱石がロンドン留学した時も欧州上陸はこの街だったし、もっと前の江戸時代末期幕府が派遣した遣欧使節団「大君の使節」が 1862 年に上陸したのもこの街だった。マルセイユは単にフランスだけにとどまらず、日本にとって長い間憧れだった西洋の玄関だった。その彼らは旧港へ上陸した。丘の上のノートルダム寺院が見下ろしている港は今はヨットハーバーで、レストランやカフェ、ホテルに囲まれて、終日観光客と地元市民でにぎわっている。



